

<基本情報>

施策名	環境生活部の行政の企画及び総合調整				<input checked="" type="checkbox"/> 内部等管理業務	施策コード	03 - 01
計画等の位置付け	総合計画	—	未来づくり戦略	—	前年度に二次政策評価意見を付与	所管部(局)名 環境生活部 作成責任者名 環境生活部長 宮川 秀明 照会先グループ 総務課企画調整グループ ・内線 内線(24-117)	関係課名 総務課
	地域重点プロジェクト	—	特定分野別計画	—			

<計画: Plan> 業務目標の設定:各部署が実施

1 業務目標及び今年度の取組	(1)業務目標 [当該施策分野において目指すべき具体的な姿] 関係各所との連絡調整や予算編成、執行管理及び決算事務、人事管理、組織検討等を通じて環境生活部行政の円滑な運営を図る。	(2)今年度の取組 [予算や組織改編等への反映状況] ＜主な取組＞ ①道議会に関すること。 ②環境生活部行政の企画・総合調整に関すること。 ③部内の予算編成に関すること。 ④その他部内の内部管理に関すること。 (組織体制等の見直し) ・各種業務の集約・効率化や進捗状況等を踏まえ、グループの統合等により定数を縮減する見直しを行うとともに、水素社会形成や環境影響評価、生物多様性保全などに関する業務量の増加に対応するため、それぞれ職員を配置した。 ・女性の活躍を推進する新たな業務に対応するため、女性支援室を設置し、組織体制を整備する。 ・東京五輪の波及効果をスポーツ振興などに結びつける新たな業務に対応するため、オリンピック・パラリンピック連携室を設置し、組織体制を整備する。
	(1)前年度「改善意見」 [二次政策評価における「5改善意見」の内容] (具体的な意見内容) <input type="checkbox"/> 総計 <input type="checkbox"/> 公約 <input checked="" type="checkbox"/> 行財政改革 <input type="checkbox"/> 進捗状況 <input type="checkbox"/> 前年度二次意見 <input type="checkbox"/> 指標設定 <input type="checkbox"/> 重点課題 <input type="checkbox"/> その他 これまで職員数適正化計画に基づき、見直しを実施しているところであるが、今後も引き続き、事務事業の優先性や緊急性を踏まえた事業の休廃止の検討や民間開放の推進など、人工数の縮減につながる徹底した見直しを行い、道が担うべき事務事業に限られた人的資源を重点的・効果的に配分できる組織体制を検討すること。	(2)改善意見への対応 [前年度評価「5改善意見」への対応状況] (具体的な主な取組) ・各種業務の集約・効率化や進捗状況等を踏まえ、グループの統合等により定数を縮減する見直しを行うとともに、水素社会形成や環境影響評価、生物多様性保全などに関する業務量の増加に対応するため、それぞれ職員を配置した。 ・オール北海道で女性の活躍を推進する新たな業務に対応するため、女性支援室を設置し、組織体制を整備する。 ・東京五輪の波及効果をスポーツ振興などに結びつける新たな業務に対応するため、オリンピック・パラリンピック連携室を設置し、組織体制を整備する。

<実行: Do> 施策の推進

平成27年8月1日現在

3 具体の取組	主な取組・実績 ◎:前年度意見への対応 ○:主な取組 ●:主な実績 (具体的な主な取組・実績) ※構成事業は別表1のとおり
	① ○道議会に関すること。 ●定例会及び環境生活委員会等への対応 ② ○環境生活部行政の企画・総合調整に関すること。 ●国費予算要望(H27:3回、要望先:関係省庁、国会議員、主な要望内容:水道施設の整備促進、循環型社会形成の促進、水素の活用など低炭素社会づくりの推進、アイヌの人たちに対する総合的な施策の推進、北海道・北東北の縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた施策の推進、オリンピック・パラリンピック東京大会開催効果の波及に向けた施策の推進と冬季大会の札幌招致、エゾシカやトド、アザラシなどの野生鳥獣被害対策の推進などについて要望)、H28国費要予算において、アイヌ関連予算が措置されるなどした。 ●広報・広聴及び政策評価等に関する部内調整等を実施 ●H27重点政策として、水素社会形成の推進、エゾシカの捕獲・利活用、女性の活躍推進、地域文化の発信などの施策を実施 ③ ○予算編成に関すること。 ●予算編成・執行管理、決算の事務を実施 ●H27年度部予算(②定現計) 9,561,368千円 ④ ○その他内部管理の実施 ◎グループの統合等により定数を縮減する見直しを行うとともに、水素社会形成や生物多様性保全などに関する業務量の増加に対応するため、職員を配置した。 ◎新たな業務に対応するため、女性支援室及びオリンピック・パラリンピック連携室を設置し、それぞれ組織体制を整備した。

4 一次政策評価の結果	(1)進捗状況の判定(詳細は、別表2のとおり)											
	① 各成果指標の進捗状況 [左: 指標名、右: 進捗度合]											
	A 定量的指標											
	② 総合判定結果		順調					B 定性的指標			1) 部内各施策の円滑な運営状況	順調
	区分	進捗度合の指標数										
		順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	計	その他					
	定量的指標					-						
	定性的指標	1				1	-					
	計 (比率)	1 (100%)	-	-	-	1 (100%)	-					
	総合判定	○										
(2)課題												
①喫緊の課題 (具体の主な内容) 環境問題及び道民生活に対する関心の高まりなど、環境生活部行政の様々な課題に対し、部内各所属が実施する各種施策を効果的・効率的に推進するため、引き続き連携や調整を図る必要がある。					②中長期的な課題 (具体の主な内容) 今後とも環境生活部行政の様々な課題に対し、部内各所属が実施する各種施策を効果的・効率的に推進するため、連携や調整を図る必要がある。							
(3)施策の方向性 [(1)、(2)を踏まえ、取組の強化、改善などの方向性を記載]												
(対応方針)												
A	・部内の連絡調整を効率的に実施する。											
B	・部内の人事や組織に関する庶務を適切に実施する。											
C	・部内における企画及び総合調整を効果・効率的に実施する。											
D	・部内における予算編成・執行管理及び決算事務を効率的に実施する。											
E	・人口減少の視点等も踏まえ、環境生活部の施策の展開を図る。											

5 二次政策評価の結果	改善意見									
	【意見区分】 <input type="checkbox"/> 総計 <input type="checkbox"/> 公約 <input checked="" type="checkbox"/> 行財政改革 <input type="checkbox"/> 進捗状況 <input type="checkbox"/> 前年度二次意見 <input type="checkbox"/> 指標設定 <input type="checkbox"/> 重点課題 <input type="checkbox"/> その他									
	(具体の意見内容) 【行財政(定員管理)】 現在の組織の規模と体制をベースにしながら、スクラップ・アンド・ビルドを基本として、道政全体の新規行政需要に対応するため、事務事業の優先性や緊急性を踏まえた事業の休廃止の検討や民間開放の推進など、徹底した見直しを行い、効果的・効率的な執行体制の構築に努めること。									

<改善:Action> 評価結果の反映:各部局が実施		平成28年3月末現在
6 評価結果の反映	(1)予算等への反映 [予算や組織改編等への反映状況]	(2)改善意見への対応 [「5.二次政策評価の結果 改善意見」への対応状況]
	(具体の主な取組) <縮小・廃止・見直しを行った取組等> 新たな行政需要に対応するため、事務事業の効率化や経費節減を行うとともに、予算の重点化を図るなど事務事業の再構築を行った。	(具体の主な取組) 【行財政改革】 2020年東京リリオック・パ・リリオックの開催や2年後の北海道150年事業など、文化・スポーツ行政を取り巻く情勢変化を踏まえ、文化・スポーツ局を設置するとともに、文化・スポーツ課の体制を再編し、各分野を専掌する文化振興課、スポーツ振興課を設置する。

成果指標の分析結果

施策名	環境生活部の行政の企画及び総合調整	所管部	環境生活部		
		施策コード	03	-	01

A 定量的指標の進捗状況

※年度毎の進捗率 目標値c欄の()表示は、経過年としての参考値

指標名(単位)・グラフ	目標値	実績値	指標の分析					
			指標の説明		中長期目標の達成率			
1)			区分	目標・実績値	年度			
			目標値a					
	関連する主な取組	現況値b						
		達成率b/a	-					
	年度毎の進捗率					進捗度合		
	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
	目標値c							
	実績値d							
	進捗率d/c	-	-	-	-			
	2)			区分	目標・実績値	年度		
目標値a								
関連する主な取組		現況値b						
		達成率b/a	-					
年度毎の進捗率					進捗度合			
区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
目標値c								
実績値d								
進捗率d/c		-	-	-	-			
3)				区分	目標・実績値	年度		
	目標値a							
	関連する主な取組	現況値b						
		達成率b/a	-					
	年度毎の進捗率					進捗度合		
	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
	目標値c							
	実績値d							
	進捗率d/c	-	-	-	-			
	4)			区分	目標・実績値	年度		
目標値a								
関連する主な取組		現況値b						
		達成率b/a	-					
年度毎の進捗率					進捗度合			
区分		H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
目標値c								
実績値d								
進捗率d/c		-	-	-	-			
5)				区分	目標・実績値	年度		
	目標値a							
	関連する主な取組	現況値b						
		達成率b/a	-					
	年度毎の進捗率					進捗度合		
	区分	H24年度	H25年度	H26年度	H27年度			
	目標値c							
	実績値d							
	進捗率d/c	-	-	-	-			

※単年毎に設定している目標値、毎年同じ目標値となっている指標については、中長期目標の達成率に記載がありません。

B 定性的指標の進捗状況

指標の内容	指標の分析	
	1) 部内各政策の円滑な進捗状況	関連する主な取組
	当該年度の進捗状況等	
	部内の企画・総合調整等が図られており、環境生活部の施策が円滑に推進されていること等から、「順調」に進められていると判断する。	
	進捗度合	
	順調	
2)	関連する主な取組	
	当該年度の進捗状況等	
	進捗度合	
3)	関連する主な取組	
	当該年度の進捗状況等	
	進捗度合	

進捗状況の総合判定結果

区分	進捗度合の指標数						総合判定結果
	順調	概ね順調	やや遅れ	遅れ	計	その他	
定量的指標					—		順調
定性的指標	1				1	—	
計	1	—	—	—	1	—	
(比率)	(100%)	(—)	(—)	(—)	(100%)	—	
総合判定	○						

(総合判定結果に関する特記事項)